

Injury Alert (傷害速報)類似事例

抱っこ紐からの墜落による頭部外傷 (No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷の類似事例 11)

事例	基本情報	年齢：0歳 3か月 性別：女児 体重：5.32kg 身長：56.0cm
	家族構成	父 37歳、母 34歳、姉 3歳、本児の4人家族
	発達・既往歴	なし
臨床診断名		頭頂骨骨折、硬膜外血腫
医療費		入院 159,340 円 外来 18,410 円
原因対象	対象名称	抱っこ紐
	入手経路 使用状況	4年前にプレゼントとして新品を貰った。週1回程度の使用頻度で、ベビーカーと半々の頻度で使用していた。
発生状況	発生場所	自宅のマンションエントランス、エレベーター前
	周囲の人 周囲の環境	当日はお宮参りに行く予定で、母親は和装した上に抱っこひもを使用していた。
	発生年月日	2021年1月X日(日) 午前9時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	母親は背中の抱っこ紐ベルトを自分では付けられず、父親に装着してもらったが、両サイドにあるベルトはロックされていなかった。午前9時30分にマンションエントランスのエレベーターに駆け寄った際に、抱っこ紐の横にできた隙間からすり抜ける様に、本児が墜落した。強く啼泣したが、嘔吐や意識障害は呈しておらず、近くのクリニックAを受診し、医療機関Bを紹介された。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		午前11時頃に医療機関Bを受診した。受診時に意識障害なく、全身状態は安定していた。頭部CT検査で左頭頂骨線状骨折、頭部皮下血腫、および、硬膜外血腫が認められ、経過観察のために入院した。入院後は症状の増悪なく、翌日の頭部CT検査でも硬膜下血腫の拡大を認めず、入院翌日に退院した。受傷から3か月の時点で合併症、後遺症を認めずに経過している。



図 抱っこ紐を装着した際の正面・側面図。

両サイドに安全ベルトがある（矢印）。ロックされていないと両サイドに大きな隙間が生じる（右図）。